

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月22日(水)

事務事業		ユニバーサルデザイン推進事業		担当課	協働推進課	担当係	協働推進係	管理番号	3001	
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務					
	中項目	1	一人ひとりの個性が尊重されるまちづくり	根拠法令 個別計画等						
	小項目	1	人権・個性が尊重される社会の実現							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		ユニバーサルデザインの考え方を広く市民に理解してもらうため、ユニバーサルデザインまごころ出張講座を開催するものである。また、ワンナイトステイの受け入れ募集、窓口での多言語対応整備等、多文化共生を推進するものである。								
目的 ※何のために		ユニバーサルデザインの考え方の浸透。多文化共生の推進。								
対象 ※誰・何を対象に		市民								
手段 ※どのように		まごころ出張講座を開催する。ワンナイトステイの受け入れ募集を行う。								
成果 ※何を求めるか		ユニバーサルデザインの理解や関心を高める。異文化への理解を図る。								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	7	企画費	ユニバーサルデザイン推進事業	603,600
本事業の 主な業務		・ユニバーサルデザインの啓発							・	
		・ワンナイトステイの協力							・	
		・深谷市国際交流地域連絡協議会との連絡調整							・	
		・窓口での多言語対応整備(遠隔通訳サービス)							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		UDまごころ出張講座の実施ワンナイトステイ受け入れ募集	UDまごころ出張講座の実施ワンナイトステイ受け入れ募集	UDまごころ出張講座の実施ワンナイトステイ受け入れ募集	UDまごころ出張講座の実施ワンナイトステイ受け入れ募集	UDまごころ出張講座の実施ワンナイトステイ受け入れ募集	UDまごころ出張講座の実施ワンナイトステイ受け入れ募集
事業費	予算(現額)	32,000	32,000	35,000	816,000	684,000	687,000
	決算額	3,140	6,280	25,316	604,417	603,600	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	3,140	6,280	25,316	604,417	687,000
人件費	従事職員数(人)	0.11	0.31	0.31	0.44	0.44	0.44
	人件費相当試算※	855,690	2,412,420	2,436,910	3,579,840	3,415,243	3,577,793
総事業費試算		858,830	2,418,700	2,462,226	4,184,257	4,018,843	4,264,793

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		実績値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
活動指標 1	まごころ出張講座メニュー数	目標値	回	1	1	2	3	4	4	
		実績値	1	1	1	3	4	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		多様性社会に着目したメニュー数/実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 2	ワンナイトステイ受け入れ登録家庭数	目標値	世帯							
		実績値	16	13	11	11	12	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
成果指標 1	まごころ出張講座開催数	目標値	人	3	3	3	3	3	3	
		実績値	1	1	5	0	4	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		市内小中学校全30校の10%を目標とする / 実績値（単年度）							
	実績値の算出式									
成果指標 2	ワンナイトステイ受け入れ人数	目標値	人							
		実績値	4	3	2	0	2	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		県の年度計画による定員配分によるため主体的目標設定は困難。 / 実績値（単年度）							
	実績値の算出式									
成果指標 3	外国人とのトラブルなどを聞いた市民の割合	目標値	%							
		実績値	10.4	13.2	9.6	9.1	11.7			
	目標値の算定根拠/実績値の出所		さまざまな社会的要因が考えられるため主体的目標設定は困難。 / 市民まちづくりアンケート							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	まごころ出張講座のメニュー数について、受講者及び受講目的に沿った内容を提供できるようメニューの増加をすることができた。(小学校低学年向け、高学年向け、高学年向け新一万円札版、指導者向け)。ワンナイトステイ受け入れ登録家庭は12件であった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	まごころ出張講座およびワンナイトステイは新型コロナウイルス感染症に配慮しながら開催が出来た。一方で、外国人とのトラブルを聞く市民の割合は、前年度よりも2.6ポイント増加した。
			評価者 協働推進係長 田中 信江

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	窓口での多言語対応整備はモバイル端末による遠隔通訳サービスであり、民間委託およびICTの活用をしている。 また、ワンナイトステイ受け入れもZoomによる開催回が出来たため、受け入れ登録家庭に参加の呼びかけを行っている。
			評価者 協働推進係長 田中 信江

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	すべての人にやさしいまちづくりを進めるため、多様性社会を念頭とした事業を進めるためマイノリティと言われる部分が少しでもなくなるように事業内容を変えていくこととする。そのため、まごころ出張講座のメニューを増やすことから実施していく。
達成状況及び その効果	まごころ出張講座のメニューに高学年向け新一万円札版を増やすなど、時事を取り入れた内容見直しを図られ、講座内容が充実した。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	ユニバーサルデザイン推進事業	担当課	協働推進課	担当係	協働推進係	管理番号	3001
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直しで継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>まごころ出張講座のメニュー数について、受講者及び受講の目的に沿った内容の提供ができるよう、メニューの増加をすることが出来た。（小学校低学年向け、高学年向け、高学年向け新一万円札版、指導者向け） 評価指標にないものの、窓口での多言語対応整備（遠隔通訳サービス）を一年を通じて安定的に導入することができ、多文化共生の推進が図られた。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	協働推進課長 笠原 毅				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	まごころ出張講座をより効果的に推進が図られるよう、内容を常に見直しをしていく必要がある。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	まごころ出張講座の周知を図り、講座の開催数を増やす必要がある。

8. 評価指標グラフ

